

物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

事例888

発生場所	病室	精神・意識障害の有無	リスク
発生場所（その他）		無	B.物の性能のリスク D.スタッフによる物の不適切な使用・利用・選択・設置・確認不足によるリスク
関連したもの	点滴スタンド	発生内容の分類	
		転倒	

発生内容

点滴スタンドを杖代わりに使用したことによる転倒・骨折

概要

71歳、転倒歴のある患者。ナースコールを押すことを忘れがちであるため、センサーベッドを使用し付き添い歩行と
していた。ふらつきが軽減し、リハビリ療法士から院内独歩可能と判断された。そのため日中はセンサーベッドを
OFFとし、歩行時は、患者の希望で点滴スタンドを支えにして歩行を行っていた。
検温時に患者から「さっき、こけておしりを打った」と報告があった。レントゲンを撮影すると恥骨・坐骨骨折が判
明した。

要因

- ・点滴スタンドのストッパーに足が当たった際にストッパーがかかり転倒した。
- ・点滴加療が終了していたにもかかわらず、点滴スタンドを杖代わりとして使用していた。

対策

- ・点滴スタンドを押しながら歩行することの危険性を認識し、点滴施行時以外に点滴スタンドを使用しないように周知徹底する。
- ・点滴施行中に歩行する患者に対しては、転倒のリスクを十分に説明し、歩行時の観察を行い、歩行時の注意点を指導する。

参照

